

令和6年宇治田原町全員協議会

令和6年9月3日

午前11時35分開議

議 事 日 程

- 日程第1 総務建設常任委員会視察研修委員長報告
- 日程第2 文教厚生常任委員会視察研修委員長報告
- 日程第3 城南衛生管理組合議会議員報告
- 日程第4 京都府後期高齢者医療広域連合議会議員報告
- 日程第5 京都地方税機構議会議員報告
- 日程第6 その他

1. 出席議員

議 長	12番	浅 田 晃 弘	議員
副議長	1 番	山 内 実貴子	議員
	2 番	榎 木 憲 法	議員
	3 番	馬 場 哉	議員
	4 番	森 山 高 広	議員
	5 番	山 本 精	議員
	6 番	宇佐美 ま り	議員
	7 番	藤 本 英 樹	議員
	8 番	今 西 利 行	議員
	9 番	上 野 雅 央	議員
	10番	原 田 周 一	議員

1. 欠 席 議 員 なし

1. 宇治田原町議会全員協議会規程第5条の規定により会議事件の説明のため出席を求め
るものは次のとおりである。

町	長	西 谷 信 夫 君
副 町	長	山 下 康 之 君
教 育	長	奥 村 博 巳 君

総務政策監	奥谷明君
総務理事兼総務課長	村山和弘君
健康福祉理事	立原信子君
建設事業理事	垣内清文君
都市整備担当理事	野原正行君
教育次長兼学校教育課長	矢野里志君
企画財政課長	中地智之君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局長	西尾岳士君
庶務係長	重富康宏君

開 会 午前11時35分

○議長（浅田晃弘） 引き続き大変ご苦労さまでございます。

会議は、お手元に配付しております会議日程により進めさせていただきます。

これより議事に入ります。

日程第1、「総務建設常任委員会視察研修委員長報告」をお願いいたします。原田総務建設常任委員長。

○総務建設常任委員長（原田周一） それでは、去る7月3日から4日にかけて、福井県のほうに総務建設常任委員会視察を行いました。その結果をご報告させていただきます。

既に、この広報で総務建設常任副委員長の宇佐美議員から広報紙で詳しく報告はされておるんですが、まず、この1日目です。7月3日につきましては、福井県の永平寺のほうに自動運転の実証実験をされておりますので、そこを視察させていただきました。

これが、我々のほうでも今、は一とバスとか公共交通の問題があって、将来こういうことができないかということで行ったんですが、結論から言いますと、まあ無理やと。と言いますのは、この永平寺なんですが、ここに少し書いていますけれども、全国、国交省が経産省と合わせて自動実験の募集をしたところ、応募して、そのうちの4か所のうちの1つ、永平寺町が選定されたということですから、なぜ永平寺町かと言ったら、ちょうど京福電鉄の永平寺の門前まで行く京福電鉄が廃線になった線路の跡を、そこがちょうどうまく空いていたと。ちょうどそれは、国道と並行して走っているんですけども、そこを実験線に、人とかあまり入ってこないのということで、そういうような実証実験ができる場所があったということで、大体約2キロぐらいなんですけれども、そこを利用してやると。

それで、イメージとしては、ゴルフ場のカート。見ていただいたら分かるんですけども、それにいろんなセンサーをつけて、それで制御の部屋からコントロールして走らせると、自動運転するということなんです。

そのセンサーなんかもいろいろ話を聞きますと、実際我々が今現在乗っています車に装備されている市販のセンサー。これは、なぜそういうものかと言いますと、やっぱり今後量産された場合に、やはり安く普及させんといかんということで、市販のものをできる限り使って自動車を組み立てて、それで実証実験をしたということでございます。

それで、我々も実際に2キロほどを乗せてもらいました。乗せてもらいましたんですけども、ほとんど障がい物がいないところなので、実際に信号とか、あるいは自転車と

か人間とか動物とか飛び出した場合にどうなのかというのは、一応止まるとは説明があったんですけども、疑問が残るんじゃないかというようなことで、今後コストのこと、それから完全な自動運転レベル5までは、相当な時間がかかるんじゃないかという印象を受けました。

それで次に、2日目には、敦賀の発電所、これ皆様ご存じのように最近新聞報道等で話題になっています断層の上に建っているということで、継続かどうかということいろいろもめているんですが、まだまだ日本原子力発電株式会社としては、いろんな調査資料を提供して、何とか継続していくというようなことです。

日本原子力発電株式会社というのは、沖縄電力を除く北海道電力から九州電力までの大手電力会社と、それから日立製作所とか三菱重工ですね。こういった大手の企業、それからみずほ銀行などが出資した会社で、東電が一番出資としては大きいんですけども、こういった形で原子力発電というものについて、実際ここも発電して電気は送っているんですけども、一応各電力会社で原子力というものをずっと実験を兼ねて操業されていると。

それから、ここには我々行かなかったんですけども、奥にはもんじゅですか。ウランの再生なんかするような、あれ何かの一応設備もあります。現在稼働しているのが2号機でありまして、1号機2号機があったんですが、1号機はもう既に廃炉で、現在ずっと廃炉作業が進んでいると。現在稼働していたのが2号機であるというようなことでございます。

この原子力発電のすぐ少し奥に、そういう展示館みたいなものがございまして、我々はその行行って説明も受けて、今はやりのVRと言うんですか。こう眼鏡、それで原子炉の中をずっと見ていろいろ勉強させていただいた。

特に安全性について我々質問、それと福島原発事故以来、問題になっています安全性そういうようなところ、それから、学生が減ったと、原子力に対する。その辺の懸念について、いろいろ我々のほうからも質問して、何とか頑張っているんだというような回答もありました。特にいろんな、日本は特に石油等資源がないので、できる限り原発を有効に動かしていきたいということでございます。

それから、ちなみにまだ建設はされていないんですけども、ここにちょっと書いてあるんですが、3号機4号機の設置予定があって、この3号機4号機につきましては、まだ建設が、まだ全然進んでいない、手をつけていないということでございます。

今後、エネルギー資源の多様性を確保する意味からも、原子力発電の必要性とか重要

性というものを強く感じて帰ってきたということでございます。以上でございます。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第2、「文教厚生常任委員会視察研修委員長報告」を行います。馬場文教厚生常任委員長、よろしくお願いします。

○文教厚生常任委員長（馬場 哉） 文教厚生常任委員会視察報告を委員長の馬場よりさせていただきます。

日時といたしましては、7月11日と12日、2日間におきまして、愛知県の南知多町にすこやかオンライン相談事業について、愛知県阿久比町には幼保小中一貫教育について視察を行いました。

南知多町のほうでは、スマートフォンやパソコンを使って実施をされている産婦人科、小児科オンライン相談事業について、南知多町役場におきまして片山議長さんはじめ、高田副町長様にも対応いただいたところでございます。

南知多町は、愛知県の知多半島南部に位置する人口1万6,000人の町でございまして、子育て世代の人が、日頃より使用について慣れておられるスマートフォンを活用してオンライン相談事業を実施されておりまして、届かなかった不安や孤立にリーチできる事業であるとの感想でございました。

行政としては、サービス提供事業者から相談内容等の個人情報提供はされないんですけれども、毎月の登録者数、相談件数、主訴を確認することができるので、行政が持っているデータを活用いたしますと、個別にアプローチすることも可能であるということで、何より利用者の方から夜間も相談に応じていただけるので、とても満足しているとの声が多数あるという報告を受けたところです。

産婦人科、小児科オンライン相談事業につきましては、疾患の構造が変化している今日、妊産婦さん、子どもたち、子育て家庭を支えるために必要な社会インフラであるのかなという感想でございました。

ちょっとここで余談なんですけれども、南知多町の役場のここに書いております高田副町長様が、宇治田原町の郷之口郵便局の向かいの高田さんにご親戚であるということで、そういうことを知らずに行ったんですけれども、世間は狭いもんやなというふうに感じたところでございます。

続きまして、愛知県阿久比町ですけれども、目的といたしましては、2007年教育実践発表会において全国で発信されました幼保小中一貫教育プロジェクトの理念と推進方法

について視察を行いました。

山本議長さんはじめ、主催の担当の皆様方により阿久比町役場で対応いただきました。

阿久比町は、知多半島の中心に位置をしまして田園風景が広がる人口 2 万 8,000 人の町でございました。町内の小学校は 4 校ですが、中学校は 1 校という町の教育規模で言いますと、本町とよく環境が似ておりまして、それぞれ地域の特色を活かした教育を進めておられました。

義務教育の出口である 15 歳の生徒像を明確に持たれまして、幼稚園、それから町内の民間の幼稚園も含めまして、保育園共々育成を連携をさせながら、子どもたちの教育を実施されておりました。

中学校での指導の効果を上げるために、保護者の方や地域の協力者の方々に向けて、幼保小中一貫教育についての手引書を教育委員会が作成をされまして、15 歳の生徒像を町内住民と理念共有されていることは、とても参考になるとの感想でございました。

本町でも施設一体型は先延ばしになっておりますが、小中一貫教育は実施しており、住民との理念共有など現状に少し手を加えるだけで実践も可能なことであるという感想でございました。

以上、文教厚生常任委員会委員長報告を終わります。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第 3、「城南衛生管理組合議会議員報告」、これにつきましては、宇佐美議員より報告をいただきます。

○議員（宇佐美まり） 城南衛生管理組合議会議員報告をいたします。

令和 6 年 3 月 19 日、議会運営委員会、出席、宇佐美まり。

3 月 27 日、再開日、出席、原田周一議員、宇佐美まり。議案第 9 号について、可決されました。また、報告第 1 号は、組合事務所の移転に伴う住所変更の手続が完了したと管理者から報告されたところです。

続きまして、城南衛生管理組合本庁管理棟の移転について報告いたします。

城南衛生管理組合本庁管理棟は、令和 6 年 7 月 16 日に、宇治市宇治折居 18 番地に移転いたしました。それに合わせて組合議会事務所も移転しています。

次に、城南衛生管理組合「環境ふれあいひろば」オープニングイベントについて報告いたします。

令和 6 年 7 月 20 日午後 1 時から、新事務所棟 1 階にて、山城広域振興局長、正副管理

者、組合正副議長ほか多数の来賓者を招いて、テープカットをはじめ、各種イベント、記念講演会を行いました。

以上、城南衛生管理組合議会報告を終わります。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第４、「京都府後期高齢者医療広域連合議会議員報告」を行います。榎木議員より報告を求めます。榎木議員。

○議員（榎木憲法） それでは、お手元に配付の資料について報告をいたします。

令和６年８月９日に、令和６年第２回定例会が会期を１日として開会しました。

議決結果については、次のとおりです。

令和６年度第２回定例会議決結果について。

まず、○広域連合長提出議案、承認第１号並びに承認第２号につきましては、いずれも承認されました。

続きまして、議案第８号、議案第９号につきましても、２件とも可決されました。

続きまして、認定第１号並びに第２号につきましても、いずれも認定されました。

続きまして、○請願、請願第３号及び第４号、並びに第５号及び第６号につきましては、いずれも不採択となりました。以上です。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第５、「京都地方税機構議会議員報告」を行います。山内議員よりお願いします。山内議員。

○議員（山内実貴子） それでは、京都地方税機構議会議員報告を行います。

令和６年７月１０日に京都地方税機構決算監査がありました。

また、同じく令和６年８月７日に全員協議会、また、８月定例会が行われました。

８月の定例会では、議員の異動の報告がありました。

また、議案第２号として、副広域連合長の選任についてということで、古川副知事が選任をされております。

次に、議案第１号が広域連合長より説明があり、令和５年度京都地方税機構一般会計歳入歳出決算を認定に付する件ということで、歳入総額２４億５,３２７万３,３０９円、歳出総額２４億５,２２６万２,１７５円ということでした。

一般質問等があり、第１号議案、第２号議案ともに認定されております。以上です。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第6、「その他」。

その他、何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） 当局側ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） ないようでございますので、これで全員協議会を終わります。

なお、最終日の9月27日においても全員協議会を予定しており、町当局より行政諸報告等について報告願うこととしておりますので、調整方よろしくお願いしておきます。

本日は苦勞さまでございました。

閉 会 午前11時55分

宇治田原町議会全員協議会規程第8条の規定によりここに署名する。

議 長 浅 田 晃 弘